

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	コミュニティ助成事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	コミュニティ助成事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 6年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		コミュニティ			
施策	2	地域のまちづくりの推進			
基本事業	1	コミュニティ活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 コミュニティ団体														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	コミュニティ団体への助成を通じて、伝承文化を次世代に継承し、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げ地域コミュニティを活性化する。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	黒崎祭り保存会の子ども神輿及び半天の新調に対して助成を行う。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成を受けた団体数(累計)</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>36</td> <td>団体</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	助成を受けた団体数(累計)	32	33	34	35	36	団体
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
助成を受けた団体数(累計)	32	33	34	35	36	団体										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	黒崎祭り保存会(子ども神輿及び半天の新調)に対して助成を行うとともに、「鳴門のまつり」で紹介するなど、伝承文化を次世代に引き継ぐ活動を地域とともに実施した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成を行った団体数	1	1	1	1	団体
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	助成を受けた団体数(累計)		32	33	—	—	団体
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	%
今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	2,500	0	2,500
		全体予算額	0	0	0	2,500	0	2,500
		決算額	0	0	0	2,500	0	2,500
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
0.1	0.0		686		3,186			

【事務事業名：コミュニティ助成事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	うち一般財源	0	0	0	0	0
	人件費	688	686	686	686	686
	総事業費	3,188	3,186	3,186	3,186	3,186

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		地域の伝承文化の継承と後継者の育成に役立っている。
	効率性	A:効率的だった		団体からの補助金申請の受付、県への補助金申請事務が主であり、改善の余地はない。
②成果に対する評価	指標名	助成を受けた団体数(累計)		毎年、1団体ずつ補助金の申請を行い、助成を受けている。
	目標	33	団体	
	実績	33	団体	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		地域のコミュニティ活動の中心である地域の祭りを継承するとともに、今後のコミュニティ活動の担い手育成にもつながっている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	当該補助金の財源である宝くじの普及広報事業の実施は流動的な部分もあるが、(助)自治総合センターが同事業を継続する限りは、地域の要望に基づき、応募を続けていきたい。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	備前島神輿保存会が行う神輿の新調に対して、助成を行う。			
	平成29年度	県を通じて、同事業が実施されることが確認され次第、申請等の手続きを順次進める。			